

### 俳句の部

(選者・選評：田中千恵子先生)

金賞 神前に手斧始めの木端置く

渡辺睦男さん (江戸川支部)

【選評】正月休みが終って、新年の仕事始め。大工さんにとって大事な仕事道具である手斧。その手斧で削った「木端」を神前に供え、今年1年の仕事の無事を祈る。大工さんらしい「手斧始め」の儀式がすがすがしい作品である。

銀賞 故郷の空へと急ぐ雪下ろし

関谷博さん (江東支部)

【選評】ふるさとを雪国。そこには老いた親がくらくらしている。雪に埋ってしまうと買物にも行けない。早く、一刻も早く駆付け、「雪下ろし」をしなければ、の作者の逸る心持が表出されている。昨年末から日本海側と北海道の豪雪は記録的なもので、日々ニュースになっている。

銅賞 聖五月すつきりきまる鍔ならし

田中明さん (大田支部)

【選評】ベテランの職人にとつても、鍔で美しい仕上げをするのはなまやさしいことではないであろう。晴れた五月のけがれなき青空の「聖五月」が、手を添えてくれたかのような見事な仕上り。鍔職人ならではのさわやかな作品である。

### 短歌の部

(選者・選評：碓田のぼる先生)

金賞 炎風のどこかの現場で汗流す

息子を思いつつ水道工事見ており 小野かほるさん (西多摩支部)

【選評】炎暑の昼間、作者の目に二つの世界が映っている。目の前の水道工事の仕事と、どこかの現場で汗だくで働くわが子とである。二つの世界は、厳しい夏の労働で結びついている。それは血のつながりでもある。わが子によせる作者の思いが、具体的に表現されている。

銀賞 青春を戦地と銃後に奪われし

父母の墓標なり撫でて洗いぬ 二瓶誠一さん (江戸川支部)

【選評】戦争の時代、戦地と銃後にその生活を奪われた父と母であった。それを回想しながら、父母の墓標を洗う作者。結句の「撫でて洗いぬ」に、父母へのいとしみと、再び戦争をしようとする国つくりの政治に、静かだが抵抗の抒情がある。

銅賞 災害の痛みに耐える民の背に

国は積み増す軍備の重し 篠田綾子さん (葛飾支部)

【選評】災害の相次ぐ日本列島に苦しい生活を耐えている国民生活をふみにじって、軍拡一途に走る政治への抗議である。「国は積み増す軍備の重し」の下旬は、巧みである。上句は作者自身の具体的な生活を歌えば、この下旬はもっと力を持つと。

# 第35回 仲間の作品コンクール 文芸の部

## 川柳の部

(選者・選評：高鶴礼子先生)

金賞 羽もない飛ぶに飛べない風評たち

小野寺盛雄さん (調布支部)

【選評】「風評」という語に「たち」をつけることにより果たされた複数化と擬人化が秀逸です。この操作によって、「風評」というこの言葉が、字義に留まらない(＝修辭として読める)語となっていることにお気づきいただけるでしょうか。「風評なるものは、好き勝手に、方々へと飛び交うものである」という、私たちが持つ共通認識を踏まえた上で、そつと示される「飛びたくても飛び立てない風評たち」の存在。擬人法の威力によって、それが、「風評」のように、信用に値しないという先入観を以て遇される、まともに相手にされないことのない、取るに足りない、ちっぽけな存在物／者」としても読める造形となっているところが魅力です。

銀賞 デモ参加八十路の足は未だ確か

石島弘さん (小平東村山支部)

【選評】おお、と、思わず、両手を握りしめて、うんうんと頷きたくなってしまいます。何気ない眩暈のかたちに記された言葉たちから沁みでてくるのは、等身大の《ほんとう》。それによって描き出されるのは、まっすぐに顔を上げて前を向いておられるひとりの《にんげん》の、押しも押されぬ立ち姿です。とうとう、八十路まで来てしまったなあ、俺は。けれど、この足は、この足だけは「未だ確か」、まだまだ、行けるぞ、と。結句冒頭にさりげなく置かれた「未だ」という副詞。それが指し示す《歳月》という、とてつもない重みに、描出された《そのひと》の《生のかたち》が浮き彫りにされています。生きるといふことを黙々と刻んでこられた《そのひと》。その確かさを思います。

銅賞 久々に皆んな頑張る雨上り

山浦保さん (西多摩支部)

【選評】何を銜うことも力むこともない普段着の言葉で綴られた一つの情景の、なんと、爽やかなことでしょうか。長雨の後の、晴れ上がった空の下、空の青と澄んだ光を全身に吸い込んで、さあ、やるぞお、と道具を手にするひとの、真摯な心の高揚が、じんとなんてきまします。「頑張る」ということが、自分ひとりではなく、「皆んな」に属することである、としたところが、この句の眼目であり、良さであると言えましょう。ひとつのことに、みんな立ち向かえるということの、とてつもない豊饒さ、あたたかさ。それを見抜けるまなざしの素直さ、そして懐深さ。「久々に」という副詞がもたらす可愛げとおかしみが上質のスパイスとなっているところも、見逃されてはならない美点です。

## 日常賠償付の自転車保険 単身者は2500円

自転車保険は、単身者は年間掛金2500円、家族型は4500円で加入できるすぐれた制度です。

この間、埼玉県はじめ全国で自転車保険加入義務化の条例が施行され、居住者だけではなく、その地域を自転車で通行する人がその条例の対象となります。未加入者は条例違反となりますが、特に罰則

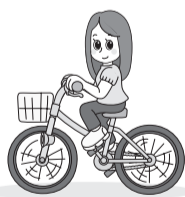
泣き寝入りしなければならぬ事もありえます。相手への賠償を第一義に、自らの身を守るために備えましょう。

自転車に乗らなくなった仲間も、自転車事故以外の交通事故や駅の改札内に入ってしまったら出るまでの事故でも補償できます。また、買い物途中に商品を壊した時も最高1億円の個人賠償保険が使えます。

損害保険ジャパン日本興亜(株)が引受保険会社です。くわしい内容はご所属の支部にお問い合わせのうえ、専用のパンフレットをご覧ください。

## 自転車保険更新のご案内

7月1日は自転車保険の年度更新となります。更新手続きの期限は以下の通りです。お手続きの方法などは、ご所属の支部にお問い合わせください。



- ①支払い方法「口座」の方は…自動継続になります。6月12日(水)に指定の口座より引き落としとなります。変更等がなければ手続きの必要はありません。\*継続を希望しない場合は、3月末日までに支部へ連絡をお願いします。
- ②支払い方法「現金」の方は…期日までに入金しなければ失効します。6月12日(水)までに、掛金(4500円または2500円)を支部でお支払いください。更新漏れを防ぐため、できるだけ口座の登録をお願いします。
- ③今回の更新から口座の登録・変更をする方は…3月20日(水)までに支部でお手続きください。口座届出印と通帳をご持参ください。\*7月1日時点で組合に在籍していない方は更新できません。\*年度内に脱退した場合、満期まで補償は継続します。

## 新入学祝金 申請をお忘れなく 5000円の図書カード贈呈

2018年4月に小中学校に入学したお子さんのいる仲間に、「新入学祝金」として5000円の図書カードをお贈りしています。

申請期限は、2019年3月末日までです。

新入学祝金は子育て世代の組合員を応援する組合総合共済の制度の一つです。

2007年からこれまで、多くの仲間に贈り、お子さんから喜びの声をいただいています。

まだ申請がお済みでない仲間は、ご所属の支部で忘れずに申請をお願いします。

### 申請に必要なもの

- ✓慶弔金支給申請書
- ✓子の生年月日と親子関係が確認できる書類 (例) 戸籍謄本、住民票(いずれも続柄記載、個人番号未記載のもの)
- ✓印鑑